

## AIには描けない夢を胸に、正解のない未来へ 全日制課程 第77回卒業証書授与式挙行

### 祝 卒業証書授与式



春の柔らかな息吹を感じる3月2日、第77回卒業証書授与式が挙行され、多くの卒業生が希望を胸に学び舎を巣立ちました。

コロナ禍での中学時代を経て本校へ入学した生徒たち。顔を合わせて共に学べる日々喜びを感じながら、部活動や学校行事で絆を深め、数々の困難を自分たちの力で乗り越えてきました。

十八歳の成人を誓う「飛翔式」で夜空へ放ったスカイランタンの優しい光には、未来への決意と他者を思いやる祈りが込められていました。

校長式辞（上）では、「人生という長い旅に、あらかじめ用意された正解はない。失敗しても、遠回りしても構わない」と、変化の激しい社会へ旅立つ生徒たちの背中を力強く押すエールが送られました。

卒業生の代表は答辞（右）で、これまで支えてくれた家族や恩師へあふれる感謝を伝えました。そして、生成AIが答えを示す便利な現代にあえて触れ、「AIは計算は出来ても夢見ることはできません。不器用でも、遠回りでも、未来を信じ、夢見ることができるのは私たち人間だけなのです」と、涙をこらえながら力強く宣言しました。



105年前、創立者が夢見た建学の精神「敬天愛人」。自分を大切に、周りの人を思いやるその教えは、彼らが迷い、暗闇に立ったとき、必ず進むべき道を照らす温かな光となるでしょう。人間の心という何よりも尊い豊かさを持った卒業生たちの、新しい物語が今、始まります。

### 式後の記念撮影



# 『自分にとって正しい歩幅』で歩み抜いた3年間

## 40名の笑顔が輝いた、涙と希望の**通信制課程**卒業証書授与式

### — 焦らず、自分らしく —

温かな学び舎から、それぞれの未来へ羽ばたく春の柔らかな光が降り注ぐ3月1日、本校通信制課程において、第12期生40名の卒業証書授与式が挙行されました。この日、式場を包んでいたのは、単なる別れの寂しさではありません。自らの意思で一步を踏み出し、3年間自分自身と向き合い続けた者だけが持つ、静かで確かな自信に満ちた空気でした。三年前、入学したばかりの彼らの歩みは、28名という少人数から始まりました。ある者は可能性を求め、ある者は自分らしさを取り戻すために、そしてある者は立ち止まる勇気を持って、この門を叩きました。

周囲の速さに流されることなく、悩み、迷いながらも、自分にとっての「正しい歩幅」を探し続けた日々。その決して平坦ではなかった道のりが、卒業生たちの眼差しを強く、そして優しく育ててきました。



校長は式辞の中で、生徒会活動や公式YouTube、地域ラジオでの発信など、学校に新しい命を吹き込んだ彼らの主体性を称えました。「強い人とは、転ばない人ではなく、転んでも立ち上がる方法を知っている人のこと」という言葉は、幾度も自分を見つめ直し、再び前を向いてきた卒業生たちの胸に深く刻まれました。



在校生代表による送辞（左）では、先輩たちが何事も全力で楽しむ姿に勇気をもらったことへの感謝が述べられました。

それに応えるように、卒業生の代表は答辞（右）で、涙ながらに振り返りました。「この通信制という環境で、焦らず、自分らしくいられる時間があつたからこそ、少しずつ前を向くことができた」と。寄り添い続けてくれた先生方、そして「信じて待つ」という深い愛情で見守ってくれた保護者への感謝の言葉に、会場は温かな涙に包まれました。



40名が手にした卒業証書は、単なる修了の証ではありません。そこには、誰とも同じではない、自分だけの誇らしい物語が刻まれています。建学の精神「敬天愛人」を胸に、彼らは今日、この学び舎を巣立ちました。自らの手で耕し、育ててきた確かな力を武器に、新しい未来へ踏み出す卒業生たち。彼らの歩む道が、これからも誰かを幸せにする光となることを、私たちは心から信じています。卒業、本当におめでとう！

令和7年度 卒業生表彰インタビュー 栄光を胸に、次なるステージへ！  
- 努力が実を結んだ瞬間と、新たな場所で描き出す希望の軌跡 -



千葉県知事賞・長戸路賞 T.Bさん

「夢の実現へ、一步ずつ。資格取得を糧に理想の仕事を目指して」  
二つの賞をいただけたことは、驚きとともに大きな喜びでした。これまで頑張ってきた証として、素直に誇りに思いたいと思います。私には、ずっと心に決めている将来の夢があります。進学先では、その夢を叶えるために不可欠な資格の取得に全力を注ぐつもりです。いつか振り返ったときに「悔いなし」と言える人生にするために、新しい環境でも自分らしく歩み続けます。

千葉県私立中学高等学校協会表彰・3か年皆勤賞 K.Iさん

「支えへの感謝を力に変えて。中学時代の自分を越えた、三か年の軌跡」  
協会表彰に加え、3年間一度も休まず登校できた「皆勤賞」をいただけたことが何より嬉しいです。周りの方々の支えがあったからこそだと心から感謝しています。中学生の頃、勉強になかなか身が入らなかった自分を変えたい一心で過ごした高校3年間でした。「過去の自分を越える」という目標を達成できたことは、大きな自信になりました。大学生活でもこの粘り強さを大切にしていきます。



日本私立中学高等学校連合会表彰・3か年皆勤賞 K.H君

「文武両道の精神で次代の教育者へ。大学ではボランティア活動にも挑戦」  
バスケットボール部のキャプテンとしての活動と、特進コースでの学習。その両立に挑み続けた結果がこのような形になり、本当に嬉しいです。春からは、小学校の先生という夢に向かって進学します。大学では学年トップを目指すのはもちろん、ボランティア活動など、誰かのために動く活動にも積極的に参加したい。自分が受けた恩を次世代へ還元できるような、熱意ある教育者を目指します。



校長賞 S.Hさん

「華道で学んだ礼儀と根気。何事も諦めない心で社会に羽ばたく」  
受賞を聞いたときは、まず自分自身に「ありがとう」と言いたい気持ちでした。顧問の先生に導かれ、花を生ける作法や礼儀を学ぶことができた経験は、私にとって一生の宝物です。卒業後も、学んだ作法を大切にしていきたいです。これから社会に出て壁にぶつかることもあるかもしれませんが、部活動で学んだ「できるまで諦めずに努力する」という姿勢を忘れず、一步ずつ進んでいきたいです。



各賞を受賞された皆さん、おめでとうございます！  
益々の御活躍をお祈りしています！！